

令和2年度（2020年度）

「世界アルツハイマー月間」の取組

9月の世界アルツハイマー月間に併せて、吹田市の認知症支援に関する取組の展示及び、認知症に関する講座等、認知症に関する普及啓発イベントを開催しました。

期間：令和2年9月1日（火）～9月30日（水）

場所：吹田市総合福祉会館1階 正面玄関前



期間：令和2年9月23日（水）～9月30日（水）

場所：吹田市役所本庁舎 正面玄関ロビー



吹田市オレンジフェア

日時：令和2年9月28日（月）午後1時30分～2時30分

場所：南千里地区公民館 視聴覚室

講座：認知症にやさしい地域を考える

講師：吹田市認知症カフェ交流会 副会長

千里津雲台訪問看護ステーション

作業療法士 石山 満夫 氏

内容：① 講師からの話

一人ひとりが希望を持ち続けていいと思う地域社会はどんなものかを、体験談を通して話していただきました。

② 認知症当事者・友人からの話

認知症当事者の方が仕事や地域ボランティアで活躍していた頃の話がされました。一緒に参加された友人から、「ご自身の家族とは外出されませんが、昔からの友達となら、一緒に出掛けたりすることが出来ている」との話がありました。

③ 叶（かのう）結びの体験

帯締めに見立てた紐を使って叶結びを体験しました。ブックエンドとして使えます。

④ 最後に、私にとって認知症になってもやさしい地域は何かを参加者皆さんと一緒に考えました。



参加者の声

- ・ 認知症の方の話聞いて印象に残りました。
- ・ 自分が認知症になっても可能な限り外に出る。人との関わりを持っていきたい。
- ・ 昔からのお友達のことは覚えておられる、安心できる。お友達の重要性を再認識できました。
- ・ 本人はとても気にしているようですので、周りの人達が理解した上で普通に接することが大切かと思いました。

【まとめ】今年度は9月の世界アルツハイマー月間に併せて、認知症や認知症に関する支援の取組などをパネルやチラシを使用している普及啓発や、認知症を正しく理解する講座「吹田市オレンジフェア」を開催しました。これからも認知症を正しく理解できるように普及啓発活動を行い、認知症になっても安心して暮らせる地域や社会になれるよう取り組んでいきます。

◎若年性認知症も含めて認知症に関する相談は、高齢者の身近な相談窓口である地域包括支援センターまで。